

5/29

米帝のカンボジア侵略粉碎！ 大阪港軍事使用阻止せよ！ 529在野西学統一行動に結集せよ。

学生会公談

全ての市民の参画を要する。
ベトナム戦争のインドシナ半島への拡大は、ベトナム危機——ドル危機という事態に
つき動かされニクソンのいわゆるグアムドクトリン（ベトナム戦争のベトナム化）に基
づくとも、その帰結といえる。それ故にアメリカ南四主者は、撤退のための戦争松
大のための戦争拡大を断々強化しなければならぬ。戦争のアジア人化の為にアジア
太平洋会議参加国へのテコ入れを強化し、とりわけ共同声明発表によって強化の一步を
踏み出した日米軍事同盟に基いて、日米の戦争への協力、加担を要請しているといえ
る。実際に日本政府の公然たる支持表明は、その共同声明にもとづいてあり、米帝の戦
争加担、武力の要請を積極的に行っているのである。

ささやかなる許しに、いざ戦争の進行に対し、我々は、日米の両側者、学生の戦いの
は反戦斗争で反撃を開始しなければならぬ。だがしかし、ソ連スターリニスト連隊
この事態に際して、「ハル会談の無視」などと極端した対応をくり返し、又中国を
主義者たちは、その反米武力路線にもとづいて、日米の両側者との対立を反米民族主
義的に歪曲しているのがある。又国内においては、日米両側者主義者に対して、戦いの
反戦斗争を創造してゆくべきである。その時に、「低許政府の追隨政策を排難」したり、
あるいは「安保条約定期期限終了期」の6月23日を中心にした全人民的斗争を要求
させ、安保条約、沖縄全面返還、平和、中立をめざす統一戦線を結成することになる
緊急な一大課題となつたことを強調し、「反戦斗争はアメリカの大規模な佐野自民
党内閣に集中する」などといっているのが、議会ワレケン病者、社共の反動的姿勢である。
わが市大の地においても日米両側者主義者の自治会の右翼的テックあげ策動と、反戦斗争の
完全な放棄、現実的に破壊を警告された民学同学生共闘の「アジアに於ける平和共闘」
なる主張にみられる右翼スターリン主義の本質、さらにア口学同学生共闘の「反戦斗争」の
インドシナ革命戦争の「反安保、中斗共闘」の「日共もの」の「ベトナムをめぐる反戦斗
争を革命的に切り拓いていくことは全く不可能だと言わねばならぬ」。

「日共」に「ベトナム」を「学生共闘」が「統一戦線」に「結集せよ」。
すでに早大一文自治会、琉球大学生会、東大文学部自治会をはじめとする全国自治
会にさつて、29日統一行動の時ばかりでなく、常に革命的な自治会を確立した大至
でも、奈良全学自治会、前日、武蔵新報、新たに革命的な自治会を確立した大至
大に自治会にさつて、すでに統一行動の呼びかけが送られていく。民学同は「若学共
闘」なるものを押し出し、大半前日自治会に結集しようとしているが、一体今日の青
学共闘なるものに、一体何人の青年が参加しているのか。口である。この統一戦
線の「原則」なるものを言い、基本戦略の一致に「沖縄基地撤去即時返還」なるマルジャ
ジの「反戦斗争」なるものをいふ。これは当然の経緯といえる。こうした「反戦斗争」なるものは、
も早く手を止めて、もう一方の日本階級斗争にとつて前進になることは言うまでもない。
一方、マルハ派野合集団は、内部対立を色みつつ、マルニヤ集合でもって今日の斗
争をのり切ろうとしている。反戦マルを一致点として、だがしかし、そうした「反戦」は
日米両側者主義にあるまじき態度をもてあそんでいるのか。現状である。
全ての市民の参画を要する。こうした既に確立された学生共闘の「若学共闘」は、
「反戦斗争」の統一行動の不断を要し、5、29全西学学生統一行動に結集し、共に革命の
反戦斗争の最前線に立ちあがらねばならぬ。共に闘わねばならぬ。

1. カンボジアへの侵略に反対した大阪港の軍事使用反対！
2. アイランド・サイキミ・サイル星地設置反対！
3. 日米共同声明、安保新報、佐野自民ト政府打倒！
4. 大阪港の軍事使用阻止！ 軍用物資搬送阻止！
5. 米帝のカンボジア侵略粉碎！
6. 日米共同声明、安保新報、佐野自民ト政府打倒！